

令和4年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	介護健康課	住民課	福祉児童課
------	-------	-----	-------

基本目標	1 みんなで“支えあう”～ほっこり暮らせるまちづくり～
施策	5 社会保障

事業の内容	具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1 介護保険事業の推進	(介護健康課) 健全な介護保険制度の運営に努めるとともに、要介護状態になっても可能な限り地域で自立した生活を営むことができるために地域包括ケア体制の確立を図った。また、認知症予防教室、介護予防教室を実施した。	A	A
2 国民健康保険・後期高齢者医療	(住民課) 丹羽郡実施協力医療機関において、加入者を対象に7月1日より10月31日まで健康診査を実施した。(国民健康保険:1,923名、後期高齢者医療:2,724名※3月28日時点) 町広報にて周知を図るとともに、町の庁外施設及び実施協力医療機関に啓発ポスター貼付け依頼をした。9月下旬に未受診者に対し受診勧奨ハガキを送付した。また、糖尿病性腎症重症化予防事業として特定健診受診者の内、基準値を超えていてレセプトにて糖尿病未治療と判断される者(8名)に対して受診勧奨文を送付した。 令和4年12月12日に扶桑町制施行70周年を記念するイベント「まちキャンプ」内で国保連合会共同参加型イベント事業を実施した。町民の健康意識の向上及び特定健診の受診率向上を目的に、体組成・脳年齢・血管年齢の測定を実施し、約120名が参加し好評を得た。	B	B
3 国民年金	(住民課) 国民年金制度を周知するために、年4回、町広報紙に記事を掲載した。また、一宮年金事務所の相談員による年金相談会を、本町で4回実施した。合計相談件数は27件であった。	B	B
4 低所得者の自立支援	(福祉児童課) 愛知県尾張福祉相談センターと連携し、低所得者や生活保護世帯の相談支援に取り組んだ。	B	B
5			
6			

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 要介護・要支援認定者の割合	高齢者人口に対する要介護・要支援認定者数の割合(%) (抑制目標)	13.9	14.9	15.4	15.8	15.8	17.0
		16.6	○	○	○	○	×
2 特定健康診査の実施率	国民健康保険の40～74歳の被保険者が受診する割合(%)	47.9	47.0	47.0	45.8	46.0	45.0
		58.0	×	×	×	×	×
3 後期高齢者健康診査の実施率	後期高齢者医療の被保険者が受診する割合 (%)	50.5	53.7	54.2	55.3	52.2	49.9
		60.5	×	×	×	×	×
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題
<ul style="list-style-type: none"> 要介護、要支援状態とならないよう、介護予防事業に取り組むことが必要。 広報等での周知に加え、未受診者へのハガキ送付による受診勧奨を平成25年より実施しているが、特定健康診査の受診率は横ばいとなっている。第2期データヘルス計画の最終評価を実施し、課題を見つけ、健康意識の向上、特定健診受診率の増加につなげていきたい。

評価を踏まえた来年度以降の改善策
<ul style="list-style-type: none"> 地区宅老、地区サロン等への講師派遣(理学療法士等を含む)を行い、介護予防への取り組みをする。 幅広い層に向けての周知に加え、未受診の理由に対するアプローチを実施する。

※1 事業の実効性
A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%)
C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度
A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%)
C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)